インフルエンザ(2026 年第 47 週)疫学情報

《コメント》

2026 年第 47 週の定点当たり報告数は 13.51(患者報告数 50,406)となり、前週の定点当たり報告数 11.94 よりも増加した。都道府県別では北海道(34.59)、宮城県(28.24)、福島県(25.77)、青森県(24.37)、長野県(24.34)、岩手県(23.95)、山形県(22.82)、秋田県(21.80)、新潟県(21.00)、山梨県(20.55)、埼玉県(18.53)、群馬県(16.52)、島根県(15.75)の順となった。全国 47 都道府県中、42 都道府県では前週の報告数よりも増加し、5 都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は 1,584 例であり、前週(1,337 例)から増加した。47 都道府県から報告があり、年齢別では 1 歳未満(42 例)、1～4 歳(159 例)、5～9 歳(153 例)、10 代(64 例)、20 代(9 例)、30 代(25 例)、40 代(34 例)、50 代(68 例)、60 代(148 例)、70 代(331 例)、80 歳以上(551 例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近 5 週間(2026 年第 43 週～2026 年第 47 週)では、AH1pdm09 が 180 件(98%)、B 型が 3 件(2%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html)を参照されたい。